

# 国語科学習指導案

単元名 あなたはどう読む？～批判的に読み、批評文を書こう～

教材名「故郷」国語3 光村図書

指導者 岡部 綾子

## I 単元の構想

### 1 単元観

本単元では、文章を批判的に読み、表現や登場人物に表れているものの見方や考え方について考える力の育成を目指す。また、こうした読みを積み重ねることで、人間や社会について多面的に捉え、自分なりの意見を形成する力を育てたい。

教材「故郷」は、約百年前の中国を舞台に描かれた作品である。主人公が変わり果てた故郷や人々との再会を通して、時代の変化によって失われていくものへの哀しみ、人と人との関係、階級や貧困といった社会の現実が描かれている。本作品を読むことで、生徒は人物の生き方や社会背景に目を向け、多様な視点から人間や社会の姿について考えることができる。

そこで、「作品を批判的に読み、批評文を書く」という言語活動を設定する。「批判的に読む」とは、テキストをそのまま受け取るのではなく、立ち止まって疑問や違和感をもち、複数の観点から読みを深めていくことである。表現の工夫、人物の描かれ方、社会背景などに着目しながら追究し、叙述に立ち返り、他者や自己との対話を通して読みを広げ、作品を複数の観点から捉え、自分の意見を形成することを意図している。

一方で、本作品は、昔の中国が舞台となっており、長文で耳慣れない言葉も多く、生徒にとって苦手意識をもちやすい教材でもある。そこで導入では「なぜこの作品は50年以上も教科書に載り続けているのか」という問いを投げ掛け、追究の中で生徒自身が作品の価値を探りながら読む学習へとつなげて、学ぶ意義を自分事として捉えられるようにする。最終的には、文学作品を読むことが、他者や社会を見つめ直し、自分の生き方を考える契機となることに気付くことを目指す。

### 2 研究との関わり

本研究では「子供を主語にした学びの実現を目指して」という研究主題のもと、「自分の問いを出発点に、自分の力で文章を読み深める生徒」の育成を目指している。生徒に学びを委ねながら質の高い学びを保障するために、学習環境の工夫と教師の関わりを中心に手立てを講じる。その際、「見方・考え方」「協働的な学び」「価値付け・方向付け」の三つの視点を踏まえながら、手立てを具体化した。

#### **学習環境の工夫**

##### **【読みの観点シート】**

本単元では、生徒が自らの立てた問いを基に追究を行う。その際、人物像、語り手などの既習の読み方を一覧化した「読みの観点シート」を提示することで、生徒がどのような観点で文章を読めばよいかを自分で選択しながら学習を進められるようにする。

このシートは、問いを立てる場面、学習計画を立てる場面、追究の途中、批評文作成時など、単元を通して繰り返し活用する。これにより、生徒が「今どの観点で読んでいるか」「次にどう読むか」といった自分の読み方を自覚し、必要に応じて調整しながら学習を進めることをねらいとする。

##### **【対話が生まれやすい座席配置】**

各自の問いを追究する場面では、同テーマを追究する生徒同士を近くに配置し、誰がどの問いに取り組んでいるのかが一目で分かるようにする。これにより、疑問が生じた際にすぐに声を掛け合ったり、異なる解釈を比較したりできるようにする。また、主題に関わるテーマを教室の中央に配置することで、対話を通して互いの考えを関連付けながら、作品全体を捉え直していけるよう意図する。

### 【意図的な班活動の設定】

自分の問いを立てた後、班で問いを吟味する活動を行う。その際、「批判的に読むことができる問いか」「いろいろな考えや解釈が出る問いか」「読みを深められそうか」といった視点を示し、協議しながら問いを絞っていく。この活動を通して、生徒が問いの質に目を向け、自分の問いを見直し更新する経験を積めるようにする。

また、ジグソー学習の考えを取り入れ、問いを吟味した後、班内で問いの担当を分担する。各自問いを追究した後、再び班に戻って交流する。他者の解釈に触れ、質問や意見交換を行うことで、自分にはなかった視点を取り入れたり、自分の読みを見直したりすることができるようにする。こうした交流を通して、個別の読みをつなぎ、作品を複数の観点から捉え直すことをねらいとする。

### 教師の関わり

教師の主な関わりは「問い返し」「つなぐ」「フィードバック」である。「それは本文のどこから考えたのか」「その言葉にはどのようなイメージがあるか」といった問い返しを行うことで、生徒が見方・考え方を働かせ、本文の叙述や言葉に立ち返って考えられるようにする。また、一人一人の追究の様子を丁寧に見取り、互いの考えを手掛かりに読みを広げられるよう、生徒同士をつなぐ関わりを行う。さらに、生徒が次の学びを見通せるよう、学びの過程や工夫を称賛・紹介したり、読みや学びを修正・更新できるようなフィードバックを行ったりする。

### 3 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(3)オ	・普段から進んで読書をする生徒がいる一方、長文を読むことが苦手な生徒もいる。また、読書は好きでもジャンルが限られる生徒や、読書の意義についてまでは考えた経験のない生徒が多い。
思考力、判断力、表現力等	・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。C(1)イ ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。C(1)エ	・文章に書かれた内容を理解したり、人物像を考えたりする学習は繰り返し経験してきたが、批判的に読むという経験は乏しい。 ・社会については表面的な理解が多く、無関心である生徒もいる。また、作品と自分の考えを結び付ける意識が弱い生徒も多い。
学びに向かう力、人間性等	・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	・与えられた課題に対し、一生懸命取り組もうとするが、文章を粘り強く読み、理解を深める姿は弱い。また、自分の思いや考えを言葉で表現することが苦手な生徒も多い。

### 4 評価規準

知識・技能	① 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。
思考・判断・表現	① 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ② 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。
主体的に学習に取り組む態度	① 粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして作品を批評したり、自分の考えをまとめたりしている。

5 指導及び評価の計画（全7時間）

過程	時間	学習活動	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価、●評定に用いる評価
つかむ	1	<input type="checkbox"/> 初発の感想を書き、交流する。 <input type="checkbox"/> 単元の課題と本時のめあてをつかむ。 <input type="checkbox"/> 作者と時代について知る。 <input type="checkbox"/> 人物相関図を作成しながら本文を読み、個人の問いをもつ。 <input type="checkbox"/> 本時の振り返りをする。	①		①	◇読書に対するアンケート結果を見て、読書の意義について考えをもつ。<観察（知①）> ◇理解を深めるために人物相関図を作成し、個人で問いを立てている。 <観察・ワークシート（態①）>
	[単元の課題] あなたはどう読む?～批判的に読み、批評文を書こう～ [本時のめあて] 作品の理解を深めるために設定をとらえ、個人の問いをもとう。					
	2	<input type="checkbox"/> 本時のめあてをつかむ。 <input type="checkbox"/> 個人で立てた問いを班で吟味する。 <input type="checkbox"/> 吟味した問いの中から自分の問いを決め、今後の計画を立てる。 <input type="checkbox"/> 同じテーマ同士で問いや計画を共有する。 <input type="checkbox"/> 本時の振り返りをする。			①	◇「批判的に読む」という視点で問いを立て、課題を解決するための計画を立てている。 <観察・ワークシート（態①）>
[本時のめあて] 批判的に読むという視点で問いを吟味し、学習計画を立てよう。						
追究する	3・4	<input type="checkbox"/> 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを立てる。 <input type="checkbox"/> 課題を追究するために個で考えたり、他者と対話したりする。 <input type="checkbox"/> 本時の振り返りをする。		①		◇本文の叙述や資料を手掛かりに、友達との対話を通して、自分の読みを見直し、深めている。 <観察・ワークシート（思①）>
	[本時のめあて] ……各自（問いを追究し、自分の考えを深めよう）					
	5	<input type="checkbox"/> 本時のめあてをつかむ。 <input type="checkbox"/> 自分が追究した問いを説明できるよう準備・整理する。 <input type="checkbox"/> 自分が追究した問いについて班で交流する。 <input type="checkbox"/> この作品に込めた作者の思いについて班で考える。 <input type="checkbox"/> 本時の振り返りをする。		①		◆友達との対話を通して、複数の観点から文章を捉え、自分の読みを広げたり見直したりしている。 <観察・ワークシート（思①）>
[本時のめあて] 追究したことを班で交流し、複数の観点で文章を読み直して、自分の考えを広げ深めよう。						

ま と め る	6	<input type="checkbox"/> 本時のめあてをつかむ。  <input type="checkbox"/> これまでの学習を基に、批評文を書く。 <input type="checkbox"/> 本時の振り返りをする。	②	①	<p>◆ 追究した読みを基に、人間や社会について考えたことを、根拠を示しながら批評文にまとめ、自分の意見をもっている。          &lt;デジタルワークシート (思②) &gt;</p> <p>◆ 今までの学習を生かして粘り強く作品を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。          &lt;観察・ワークシート (態①) &gt;</p>
	<p>[本時のめあて] 「故郷」を読んで考えた、人間や社会についての自分の意見を批評文にまとめよう。</p>				
	7	<input type="checkbox"/> 本時のめあてをつかむ。 <input type="checkbox"/> 班で互いの作品を読み、コメントし合う。 <input type="checkbox"/> 授業を振り返り、読書の意義について考える。 <input type="checkbox"/> 単元全体の振り返りをする。	①	②	<p>◆ これまでの学習を振り返り、読書が自分の生き方や社会との関わり方を支える意義や効用について理解している。          &lt;観察・ワークシート (知①) &gt;</p> <p>◆ 追究した読みを基に、人間や社会について考えたことを、根拠を示しながら批評文にまとめ、自分の意見をもっている。          &lt;デジタルワークシート (思②) &gt;</p>
<p>[本時のめあて]          互いの作品を読み合い、これまでの学びを振り返って、読書の意義について考えよう。</p>					

## II 第1時の学習

- 1 ねらい 人物相関図を書きながら本文を再読することを通して、作品の理解を深めるとともに自分なりの問いをもてるようにする。
- 2 展 開

<p>主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 初発の感想を書き、交流する。（導入 10分） S：ちょっと長くてつまらない。難しかった。 S：最後の文がかっこいいけれど、どういう意味だろう。</p> <p>2 単元の課題と本時のめあてをつかむ。 S：そんなに長い間教科書に載っているってすごいな。いろいろな魅力がありそうだな。 S：自分は読みが浅いかもしれないな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;単元の課題&gt; あなたは どう読む？ ～批判的に読み、批評文を書こう～</p> <p>&lt;めあて&gt; 作品の理解を深めるために設定を捉え、個人の問いをもとう。</p> </div>	<p>○内容の理解を深めるために、事前に本文を読ませておく。</p> <p>○読書の意義について意識できるよう、事前アンケートの結果を紹介する。</p> <p>○授業後に自分の変容を自覚できるよう、「おもしろさ・理解度・魅力度」を評価できるワークシートを用意する。</p> <p>○互いの考えを知り、読みの広がり意識できるように、初発の感想を近くの人と共有するよう促す。</p> <p>○作品に興味・関心をもち、課題への必要感をもてるよう、教科書に50年以上も掲載されていることを伝え、どこに、どんな価値があるのか生徒に投げかける。</p> <p>○作品の理解を深め、それぞれが問いをもてるよう、設定を捉えることを確認する。</p>
<p>3 作者と時代について知る。（展開 35分） S：魯迅は日本で医学について学んでいたのに文学の道を志したんだ。</p> <p>4 人物相関図を作成しながら再度本文を読み、個人の問いをもつ。 S：回想と現在の「私」と「ルントウ」の関係はずいぶん変わったな。悲しむべき厚い壁ってなんだろう。 S：「ホンル」と「シュイション」は回想の「私」と「ルントウ」と似ているな。 S：なぜ「五歳になる女の子」が登場したのだろう。</p>	<p>○作品の内容理解につなげられるよう、この作品が読まれた状況（作者や時代について）簡単に確認する。便覧やワークを紹介する。</p> <p>○関係性を分かりやすく捉え、共通点や違和感に気付けるよう、特徴や関係性を書き出したり、世代間の違いは縦に表したりするよう促す。</p> <p>◎自分に合った学び方ができるよう、相手や形態を選択してよいことを促す。また、ワークシートの他にホワイトボードと登場人物のマグネット、場面絵、リンク集の動画（NHK for school）を生徒が必要に応じて使用したり参照したりできるような環境を用意する。</p>

	<p>○それぞれのタイミングで問いを書き出すが、全体的に滞っていたら問いを立てる安心感をもたせ、活動がスムーズに進むよう、全体で問いの例を確認したり、なかなか問いを立てられない生徒には、他の生徒の考えを参照できるように促したりする。</p>
<p>5 本時の振り返りをする。 (終末5分)</p> <p>S : 人物相関図を作ることで、人物の変容や関係性、話の展開が分かりやすくなった、ホンルとシュイションが昔の「私」とルントウに似ていた。今後どうなるのだろうか。</p> <p>S : 人物相関図をまとめたことで今まで気付いていなかった関係性に気付けた。5歳の女の子やヤンお婆さんはなぜ登場したのかという、それぞれの関係から見える新たな疑問が生まれた。</p>	<p>○学んだことを整理し、次時につなげられるように、振り返りの視点を提示する。</p> <p>&lt;振り返りの視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに対する振り返り</li> <li>・読み方で学んだこと</li> <li>・問いや学び方はどうだったか</li> <li>・足りないこと・次につなげたいこと</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>○読書に対するアンケート結果を見て、読書の意義について考えをもつ。</p> <p style="text-align: right;">&lt;観察(知①)&gt;</p> <p>○理解を深めるために人物相関図を作成し、個人で問いを立てている。</p> <p style="text-align: right;">&lt;観察・ワークシート(態①)&gt;</p> </div>

### 3 学習環境

- 振り返りシート
- ワークシート(人物相関図)
- ホワイトボード・人物マグネット・マーカー
- 掲示物……人物相関図の例、場面絵
- リンク集…資料のページ紹介、動画(NHK for school)

### Ⅲ 第2時の学習

1 ねらい 「批判的に読む」という視点で問いを吟味し、学習計画を立てる活動を通して、今後の見直しをもつことができるようにする。

#### 2 展開

<p>主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 本時のめあてをつかむ。（導入5分） S：「批判的に読む」とは文章をうのみにしないということではないかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;めあて&gt; 「批判的に読む」という視点で問いを吟味し、学習計画を立てよう。</p> </div> <p>S：今まで「人物像」「情景描写」「比喻」などを学習してきた。</p>	<p>◎前時の学習内容を思い出し本時につなげられるよう、近くの人と振り返りを共有するよう促す。また、鋭い視点の問いやよく書けている振り返りを紹介して方向付けをする。 ○解決の見通しがもてるよう、「批判的に読む」とはどのようなことか確認し、批評文のモデルを示す。 ◎様々な観点から批判的に読むことを意識し、見直しをもって学習する手掛かりとなるよう、「読みの観点シート」を配布する。 ◎既習事項を想起できるよう、読みの観点シートを基に近くの人と対話する場を設定する。</p>
<p>2 個人で立てた問いを、班で吟味する。 （展開①20分） S：なぜ「私」は帰郷したのかが気になった。 S：「家を明け渡す」と書いてあるから経済的な理由じゃないのかな。それより帰郷したときの心情はどうか。 S：それだとすぐに答えが出てあまり読み深められなさそうだよ。物語を通して暗いから、「私」の心情の変化を追ったらどうか。  S：私とルントウの変化を追究したらどうか。 S：それもいいけど、ホンルとシュイシヨンの関係も似ている感じがするから、それと結び付けて考えた方が深まりそうだよ。</p> <p>3 吟味した問いの中から自分の問いを決め、今後の計画を立てる。（展開②20分） S：課題の解決のために、まずは「人物像」を捉えよう。そのあと「社会背景」についても調べる必要があるかな。 S：「五歳の女の子を連れてきたのはなぜか」を追究するために、「私」とルントウ、ホンルとシュイシヨンの関係性を調べよう。 S：「私」の心情について考えたいから、心情曲線を使おう。</p>	<p>○個人の問いを付箋に書き出した後、考えを視覚的に整理できるよう、テーマごとに区切ったワークシートに付箋を貼っていくよう伝える。（私、ルントウ、ヤンおばさん、ホンルとシュイシヨンの関係性、情景描写、その他） ◎読みが深まりそうな問いを選べるよう、問いを吟味する視点（批判的に読むことができる問いか、読みを深められそうな問いか、多様な考えや解釈が出る問いか等）を示し、検討するよう助言する。 ○考えを広げられるよう、他のグループのシートを見たり、交流したりする時間を設ける。  ○どの問いを追究しても、最後には作品全体を捉えられるよう、「鲁迅はこの作品で何が言いたかったのか」という読みのゴールを共有する。また、様々な観点から作品を読み深めるために問いの担当をし、追究の3時間目には班に戻って交流することを説明する。 ◎問いの解決に向けて学習の見通しがもてるよう、「読みの観点シート」を手掛かりにしたり、班で出た小さな問いから選んだりして計画を立てるよう促す。</p>

<p>4 同じテーマ同士で問いや計画を共有する。 S : AさんとBさんが同じテーマをやっているんだ。困ったら相談しよう。</p>	<p>◎計画立案に迷っている生徒が自分の計画を修正・決定したり、考えを広げたりできるよう、同じテーマ同士で集まり、問いや計画を共有する場を設ける。</p> <p>◎話しても計画を立てることが難しい生徒の手掛かりとなるよう、それぞれのテーマごとの「計画例」を掲示しておき、参照できるようにする。</p> <p>◎自分の問いや計画に合った追究ができるよう、複数のワークシートを用意し、生徒が選択できるようにする。また、使い方の見本を近くに掲示する。</p>
<p>5 本時の振り返りをする。 (終末5分) S : 班の中で出た問いを「批判的に読めそうか」「答えがすぐ出てしまわないか」などという視点で吟味し、決定することができた。読みの観点シートを使って追究の計画を立てることができた。</p>	<p>○学んだことを整理し、次時につなげられるよう、振り返りの視点を提示する。</p> <p>○次時からの追究に主体的に取り組むことができるよう、自分たちで問いと計画を立てられたことを称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目 「批判的に読む」という視点で問いを立て、課題を解決するための計画を立てている。 &lt;観察・ワークシート(態①)&gt;</p> </div>

### 3 学習環境

○計画表

○振り返りシート

○読みの観点シート

○ワークシート(白紙、比較シート、観点別整理シート、心情曲線、場面整理シート、思考ツール)

○掲示物……批判的に読むことの説明、計画例、ワークシート使い方例

○リンク集…ゴールへの手掛かり(ヒント)

①読みの観点シート

②読みの観点 具体例

③批判的に読むとは

④批評文モデル

⑤ルーブリック

⑥対話の方法

⑦批評文表現例

⑧資料ページ紹介

⑨動画

IV 第3～4時の学習

1 ねらい 自分の問いに関わる本文や資料に立ち返って読み、友達との対話を通して、自分の読みを根拠に基づいて見直し、深められるようにする。

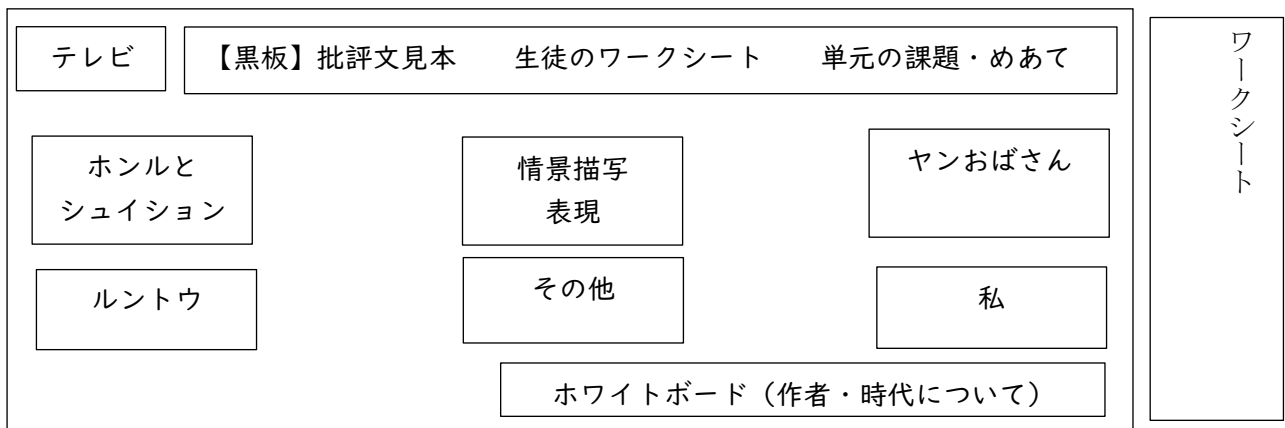
2 展開

<p>主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを立てる。 (導入5分) S：今日は「語り手」に注目して考えてみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;めあて&gt;→各自 問いを追究し、自分の考えを深めよう。</p> </div>	<p>○生徒が前時の学習内容を思い出し本時につなげられるよう、近くの人と振り返りをするよう促す。 ◎自分がどの観点で読んでいるのかを自覚し、次にどの観点で読むかを判断できるよう、「読みの観点シート」を手掛かりに、読み方を振り返るよう助言をする。</p>
<p>2 課題を追究するために個で考えたり、他者と対話したりする。 (展開40分)</p> <p>生徒の思考例（代表例・3テーマ）</p> <p><b>【私】</b> S：暗い心情が多い気がする。作品全体の心情を整理するため心情曲線を描いてみよう。 S：「鉛色」などの情景はどんな気持ちを表すのか、描写を探してみよう。 S：他の人から見るとどんな人物なのか、ルントウ担当の人と話してみよう。 S：「私」はどんな社会を希望しているのだろうか。当時の社会や魯迅について調べてみよう。 S：「私」は魯迅の自己投影の要素が強いのかもしれない。最後の文には読者へのメッセージが込められている。</p> <p><b>【ルントウ】</b> S：少年の頃と現在のルントウは大きく違う。外見や言動を並べて比較してみよう。 S：「しわがある」と「しわが畳まれている」は印象が異なる。その意図は何だろう。 S：「喜びと寂しさの色」はどんな気持ちか、再会シーンを読み直そう。 S：変化の背景には凶作や税金など社会が関係していそう。資料で調べよう。 S：ルントウは当時の疲弊した農民の象徴なのかもしれない。</p> <p><b>【紺碧の空、金色の丸い月】</b> S：「月」が二回出てくる理由を考えるため、描</p>	<p>◎学習環境の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰と対話すればよいか一目で分かるよう、テーマと生徒の位置を可視化したシートと問いの一覧を掲示する。</li> <li>疑問が生まれた際にすぐ共有したり互いの考えを比較したりできるよう、同じテーマを扱う生徒同士を近くに配置する。</li> <li>個別の読みが作品全体の理解へとつながるよう、主題に関わるテーマを扱う生徒は、教室の中央に配置する。</li> <li>必要な生徒がすぐ参照できるよう、背景資料、生徒の追究のワークシート、ゴールへの手掛かりとなるリンク集などを掲示する。</li> </ul> <p>◎教師の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の状況に応じて適切な対応ができるよう、教師は一人一人を丁寧に見取り、問い返し、つなぎ、価値付け・方向付けを行う。</li> <li>作者の意図を考えたり、本文に立ち返ったりできるよう、問い返しを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例・それはどこからそう考えたの？ ・「コンパス」はどんなイメージかな？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いの考えを手掛かりに読みを広げ深められるよう、適切な相手とつなぎ対話を促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例・〇〇さんも同じことを考えていたよ。 ・△△さんは違う解釈だったみたいだよ。聴き合ってみたらどうかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自分の解釈を確かめ、深めていけるよう、必要に応じて資料（便覧・ワーク・掲示</li> </ul>

<p>写を比較して抜き出そう。</p> <p>S：他の場面は暗いのに、ここだけ明るいのはなぜか。「私」の心情を追究している人を探そう。</p> <p>S：二回目にはレントウがいないのはなぜか。月は何を象徴しているのか、ホンルとシュイシヨンの担当に聞いてみよう。</p> <p>S：暗い中でも「希望」を描いたのはなぜだろう。鲁迅の考えを調べよう。</p>	<p>物) へつなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自分の読みや学びを自覚し、問いや計画を修正・更新できるよう、言葉掛けや計画表や振り返りへのフィードバックを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例・掲示に写真があるから見てごらん。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことが分かったの？</li> <li>・なるほど、そう考えたんだね。</li> <li>・次はどんな追究をするとよさそうかな？</li> </ul> </div>
<p>3 本時の振り返りをする。(終末5分)</p> <p>S：ヤンおばさんを「描写」の観点から読んだら、「コンパス」という表現に込められた作者の意図に気付いた。4時間目は「社会・時代」の観点からもう少し追究したい。</p>	<p>○自分の追究の状況や読みの不足に気付き、次に何をすればよいか判断できるよう、振り返りの視点を提示する。</p> <p>&lt;振り返りの視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の観点でどこまで深まったか</li> <li>・次時に追究・交流で扱いたい観点</li> <li>・新たに生まれた疑問・課題</li> </ul> <p>○次時につながるよう、必要に応じて問いや計画の更新を促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>◆本文の叙述や資料を手掛かりに、友達との対話を通して、自分の読みを見直し、深めている。</p> <p style="text-align: center;">&lt;観察・ワークシート(思①)&gt;</p> </div>

### 3 学習環境

#### ○教室配置図



#### ○計画表

#### ○振り返りシート

#### ○読みの観点シート

○ワークシート(白紙、比較シート、観点別整理シート、心情曲線、場面整理シート、思考ツール)

○掲示物……作者・時代について資料(ワークや便覧を拡大したもの)

生徒の追究ワークシート(テーマごとに多様な思考のものを複数掲示)

#### ○リンク集…ゴールへの手掛かり(ヒント)

①読みの観点シート

②読みの観点 具体例

③批判的に読むとは

④批評文モデル

⑤ルーブリック

⑥対話の方法

⑦批評文表現例

⑧資料ページ紹介

⑨動画

V 第5時の学習

1 ねらい 追究内容を班で交流することを通して、文章を批判的に読み、友達の読みと照らし合わせながら自分の考えを広げたり見直したりできるようにする。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 本時のめあてをつかむ。 (導入2分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;めあて&gt; 追究したことを班で交流し、複数の観点で文章を読み直して、自分の考えを広げ深めよう。</p> </div>	<p>○「批判的に読む」ことを意識し、作品全体を複数の観点で読むことができるよう、初めの班に戻って交流し、作者の思いを考えるという学習の流れを伝える。</p>
<p>2 自分が追究した問いを説明できるよう準備・整理する。 (展開①8分)</p> <p>S：自分の考えを説明するときは、分かったことだけでなく、根拠と考察もしっかり入れた方がいいんだな。</p> <p>3 自分が追究した問いについて班で交流する。 (展開②25分)</p> <p>S：ヤンおばさんはただ意地悪なのではなく、当時の中国の社会状況を表す象徴として描かれているのかもしれない。</p> <p>S：ホンルとシュイションが「私」とルントウの関係とリンクしていると気付いて驚いた。</p> <p>4 作品に込められた作者の思いについて班で考える。 (展開③10分)</p> <p>S：若い世代が「私」とルントウのような関係にならないように、世の中を変えたいという願いが込められているのかもしれない。</p> <p>S：社会がどんなに厳しい状況でも、希望をもって生きてほしいという思いを感じる。</p>	<p>○交流に向けて説明に必要な情報を整理できるよう、読みの観点シートを手掛かりに自分の読みの観点を確認させるとともに、同じテーマの生徒同士が対話できる配置にする。</p> <p>○より説得力を高められるよう、根拠が弱い場合は本文に戻るよう促す。また、分かったことだけでなく、作者の意図や考察、分からない部分などを入れるよう伝える。</p> <p>◎自分の読みの広がりや見直しに気付けるよう、問いや読みの観点を手掛かりに対話するよう促す。また、読みの変化を自覚できるよう、交流によって生まれた新たな考えは、別の色で書き足すよう伝える。</p> <p>○多様な視点に触れられるよう、交流の範囲を班内から他の班へと広げるよう促す。</p> <p>○作品全体を捉え、自分の問いと結びつけて考えられるよう、これまでの交流で出た視点を基に話し合うよう促す。</p> <p>○作者の意図や主題に迫れるよう、関連する叙述や資料に立ち返るよう助言する。</p>
<p>5 本時の振り返りをする。 (終末5分)</p> <p>S：班の人と交流したことで、自分が追究してきたことと他の人の問いがつながり、今まで分からなかった部分や作品全体が見えてきた。作者がいう「希望」には当時の社会を変えたい、みんなで行動しようという意味が込められているのではないか。</p>	<p>○今日の交流で得た視点の変化や気づきを自覚できるよう、振り返りの視点を示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>◆友達との対話を通して、複数の観点から文章を捉え、自分の読みを広げたり見直したりしている。</p> <p style="text-align: center;">&lt;観察・ワークシート（思①）&gt;</p> </div>

## VI 第6時の学習

1 ねらい これまでの学習を基に、人間や社会について考えたことを整理することで、根拠を明らかにしながら、自分の意見を形成できるようにする。

### 2 展開

<p>主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (導入2分) S：前回の交流で〇〇さんの考えが参考になったから、それも入れてみよう。</p>	<p>◎生徒が前時の学習内容を思い出し本時につなげられるよう、近くの人と振り返りをするよう促す。また、振り返りを紹介して方向付けをする。</p>
<p>&lt;めあて&gt; 「故郷」を読んで考えた、人間や社会についての自分の意見を批評文にまとめよう。</p>	
<p>2 これまでの学習を基に、批評文を書く。 (展開45分) S：ルントウの変化だけでなく、その背景の社会にも触れた方が作品の価値が伝わりそうだ。 S：自分は「希望」の部分を中心に書きたい。ここがこの作品の一番のポイントだと思う。 S：私はどんな社会になっても友情を大切にしたい。 S：自分が同じ境遇だったら、やはり「私」と同じように失望してしまうかもしれない。</p>	<p>◎時間を柔軟に使い自分に合った学び方ができるように、自由に対話したり、追究し直したりしてもよいことを伝える。 ◎何をどの程度書けばよいか見通しをもてるよう、ルーブリックを示す。 ◎全員が自分の意見を言語化できるように、モデル文や参考になる表現例などを示す。また、複数の生徒の追究ワークシートを掲示して必要に応じて参照できるようにする。 ○よりよい批評文になるよう、書けた生徒から随時作品を互いに見合い、よい点・改善点を具体的にコメントしたりよい点を参照したりするよう促す。</p>
<p>3 本時の振り返りをする。 (終末3分) S：「ルントウの変化」について書いていたが、登場人物を当時の背景に照らし合わせ、希望についての自分の意見を入れることができた。 S：途中で何を書けばよいか分からなくなってしまったけれど、掲示を見て他の人の考えを参考にしながら、自分でも納得いく批評文を書くことができた。</p>	<p>○学んだことを整理し、次時につなげられるよう、振り返りの視点を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>◆追究した読みを基に、人間や社会について考えたことを、根拠を示しながら批評文にまとめ、自分の意見をもっている。     &lt;デジタルワークシート（思②）&gt;</p> <p>◆今までの学習を生かして粘り強く小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。     &lt;観察・ワークシート（態①）&gt;</p> </div>

### 3 学習環境

○掲示物……生徒の追究ワークシート（テーマごとに多様な思考のものを複数掲示）

○リンク集…ゴールへの手掛かり（ヒント）

①読みの観点シート

②読みの観点 具体例

③批判的に読むとは

④批評文モデル

⑤ルーブリック

⑥対話の方法

⑦批評文表現例

⑧資料ページ紹介

⑨動画

## Ⅶ 第7時の学習

1 ねらい 互いの批評文を読み合い、これまでの学習を振り返ることで、読書が人間や社会について考える手掛かりとなることに気付くことができるようにする。

### 2 展開

<p>主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 本時のめあてをつかむ。 (導入3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;めあて&gt; 互いの作品を読み合い、これまでの学びを振り返って、読書の意義について考えよう。</p> </div>	<p>○作品全体を複数の観点や解釈で読むことができるよう、多くの人と交流するよう促す。</p>
<p>2 班で互いの作品を読み、コメントし合う。 (展開①25分)</p> <p>S：違うテーマで考えるとこんな読み方もできるんだな。おもしろいな。</p> <p>S：この書き方だと表現の工夫しか書かれていないから、作者の思いも入れた方が伝わるな。</p> <p>S：自分にない視点を知れたので書き足したい。</p>	<p>○他者の視点と出合いながら自分の考えを整理できるよう、互いの作品を読み合い、友達の新たな視点や解釈を自分で書き足したり、よい点や改善点を具体的にコメントし合ったりする。</p> <p>○多くの生徒の解釈を聞き視野を広げることができるよう、問いの一覧を提示し、様々なテーマの人と交流するよう促す。</p>
<p>3 授業を振り返り、読書の意義について考える。 (展開②15分)</p> <p>S：「故郷」を読んだ当時の人たちは、社会を変えたいと思ったのではないか。</p> <p>S：読書をすると社会の在り方や人の生き方を知ることができるし、自分の生き方を考えるきっかけにもなるな。</p>	<p>○文学作品を読むことが人生や社会について深く考えるきっかけ・支えになることに気付くことができるよう、当時の読者の受け取り方や現代社会とのつながりを想起させる言葉掛けをする。</p> <p>○考えを整理したり広げたりできるよう、近くの人と対話する時間を設ける。</p>
<p>4 単元全体の振り返りをする。(終末7分)</p> <p>S：ただ文を読むのではなく、様々な観点で読むことが小説を読む上で大切だと思った。言葉や情景、登場人物すべてに作者の伝えたいことや意図があると気付いた。今後はそこに着目して読みたい。</p>	<p>○今後の学習につなげられるよう、「今回学んだことがどのように生かせるか」「何を身に付けたか」という視点を示す。</p> <p>○今後の学習でも主体的に取り組むことができるよう、自分たちで読みを深めることができたことを称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>◆これまでの学習を振り返り、読書が自分の生き方や社会との関わり方を支える意義や効用について理解している。</p> <p style="text-align: center;">&lt;観察・ワークシート(知①)&gt;</p> <p>◆追究した読みを基に、人間や社会について考えたことを、根拠を示しながら批評文にまとめ、自分の意見をもっている。</p> <p style="text-align: center;">&lt;デジタルワークシート(思②)&gt;</p> </div>